



発行
米原市伊吹老ク連
編集
米原市伊吹老ク連
広報委員会
米原市伊吹老ク連事務局
TEL (0749) 58-1634

「霊峰伊吹の自然と大地に老いを重ねて！」



伊吹老ク連 会長 嶋田 正昭

新緑が日増しに色濃くなり、伊吹の山並みが一層際立つ季節になり、伊吹老人クラブ連合会の会員各位におかれましては、益々ご清祥で過ごしのこととお喜び申し上げます。

伊吹老ク連の地域活動に携わらせて頂き四年目に入りましたが、社会がコロナ禍で明けコロナ禍で暮れる日々に翻弄されている日常生活、老人クラブとして活発な活動が出来ない状況下に、重責を預かる老ク役員の一人士として苦慮しながらの日々と現実が続きます。

この度、伊吹老ク連広報報「年輪」の発行回数が、今年度で100号の記念すべき発行を迎えることになり、一定の区切りとする時代背景にあるのかと考慮するところで

す。今、改めて、地域社会の高齢化が加速する現状を踏まえて、伊吹老ク連の抱える体制の課題や高齢者団体老人クラブの活動と存続性について、次の世代に組織の必要性を繋げるためにも、地域と老人クラブとの対話と協調が必要なた時であり、各単クの役員ならびに会員各位のご理解と御協

力をよろしくお願いいたします。

老人クラブ会員ならびに高齢者の皆さんには、コロナ禍の感染予防の注意事項を守り、ワクチン接種等により日常を平常心で臨み、コロナ禍の疫病不安が通り過ぎるまで、自粛と忍耐による行動を維持することが、個人に求められる社会環境だと思っております。

日々、予測不能なコロナ禍の事態にはありますが、一日も早い終息を願って止みません。

さて、この夏の二回目の東京オリンピックが無事に開催されることを、心待ちする一人ですが、内外の社会情勢はコロナ禍で不安定さが増し、開催に当たってJOCの試行錯誤の状態が続いています。が、世界人類の平和の祭典としてコロナ禍の困難を乗り越えるためにも、是非とも各国の英知を持って成功裡に開催してほしいと思います。

昭和の東京オリンピックが開催された時代と、私共が眺めて来た霊峰伊吹の歴史ある姿、その大地に育まれた我々の人生は高齢の域に入っていますが、今更ながら登山やス

キーに興じた若い日の思い出、霊峰伊吹の自然と歴史が紡ぐ麓の成り立ちには、この約半世紀余りで自然や社会は大きく変化して来ました。

昭和30年代の伊吹山は、まさに霊峰としての自然の宝庫であり、毎年多くの登山客やスキー客が訪れて山麓の賑わいが続いた時代、日本社会の復興と共に山麓の広大な森林地帯を農地転用等で開発された開拓時代、セメント産業の誘致により霊峰伊吹が原石山に変貌し地域雇用潤いを生んだ時代、更に公共施設やインフラの整備・伊吹中腹の観光施設と観光用道路・高圧送電の鉄塔が設置された時代等々、霊峰伊吹が地域の生活向上と経済発展に繋げるため、豊かな自然環境を削りながら貢献する偉大な姿を見ました。

今なお、令和の時代も山肌の部分荒廃を写しながらも、雄大な姿で堂々と聳えている勇姿に人生を重ねて深い感銘を覚えると共に、温暖化やコロナ禍の現状に未来への一抹の不安を感じ、人の繋がりと自然界とのバランスが求められる、新たな多様化の時代背景の到来を思う昨今です。

役員名簿

(敬称略)

役 職	氏 名		役 職	氏 名	
会 長	嶋田正昭	福祉部会	部 会 長 常任理事	伊藤一司	
副 会 長	上津和雄		副 部 会 長 "	石河勝美	
監 事	伊賀並 功		部 会 員 単老ク	女性代表	
"	高木信竹		" "	友愛担当	
顧 問	松井重廣	保 体 部 会	部 会 長 常任理事	石河勝美	
"	久保稔江		副 部 会 長 "	伊藤一司	
企 画 部 会	部 会 長		上津和雄	部 会 員 大久保老ク	澤井一夫
	副 部 会 長		—	" 伊 吹老ク	宮田宣章
	部 会 員 常任理事		石河勝美	" 上 野老ク	堀江一三
	" "		伊夫伎博夫	" 春 照老ク	福永栄造
	" "		木原行裕	" 杉 澤老ク	宮崎正基
	" "		伊藤一司	" 村 木老ク	中西 均
" "	嶋田正昭		" 大清水老ク	宮川憲一	
研 修 部 会	部 会 長 常任理事		木原行裕	" 藤 川老ク	高木信竹
	副 部 会 長 "	伊夫伎博夫	委 員 長	伊夫伎博夫	
	部 会 員 上板並老ク	伊賀並 功	副 委 員 長 副 会 長	上津和雄	
	" 高 番老ク	笹木治夫	委 員 常任理事	全 員	
			創 造 推 進 員	高橋兵太	

四月二十二日(木)伊吹健康プラザ(愛らんど)に於いて、感染対策を講じ乍ら理事会を開催し、伊吹老ク連の令和3年度事業計画、予算等が審議され承認されました。しかしながら新型コロナウイルス、更に感染力の強い変異株が猛威を振るい感染が拡大している状況から、今年度も、事業計画の中止、変更が生じるものと予測されますので何卒、ご理解下さいますようお願いいたします。

令和3年度伊吹老人クラブ連合会組織・事業計画

単位老ク役員・会員数一覧表

(敬称略)

単ク名	会 長	副会長	女性代表	友愛担当	会 員 数		
					男	女	計
上板並	伊賀並 功	小杉長男	室谷八重乃	伊賀並 香	12	17	29
大久保	澤井一夫	立澤 守	堀 幸子	柏 喜美子	23	26	49
伊 吹	宮田宣章	伊夫伎博夫	石河千代子	田中さざ美	59	69	128
上 野	堀江一三	清水正剛	堀江美智子	堀澤きみ江	90	109	199
春 照	福永栄造	福永善次 大野龍天	福永映子	三原君子	50	64	114
高 番	笹木治夫	堀内勝治	近藤かづ	筒井良子	24	34	58
杉 澤	宮崎正基	山田孝治	草野英子	大澤多恵子	37	50	87
村 木	中西 均	日比孝三	松井満智子	林 秀子	31	37	68
大清水	宮川憲一	尾木芳良	尾木文子	宮川シゲ子	17	13	30
藤 川	高木信竹	高木 悟	仲谷とみ子	早田和子	24	37	61
計	—	—	—	—	367	456	823

事業実施計画

月	日	曜	行事内容等	場 所	月	日	曜	行事内容等	場 所
4	13	火	A企画部会	愛らんど	11	10	水	A秋季GG大会	第1G・県立運動場
	13	火	広報部会（編集）	”		11	木	”（予備日）	”
	15	木	AP市町老ク連担当者会議	中 止		25	木	第60回県老人クラブ大会	野洲文化小劇場
	22	木	A理事会	愛らんど		26	金	A企画部会	愛らんど
	26	月	P市老ク連第1回理事会	近江やすらぎハウス		26	金	A広報委員会（編集）	”
5	25	火	A保体部会 初夏競技説明会	愛らんど	2	8	火	A保体部会（競技説明会）	愛らんど
	28	金	A広報委員会(割付)	”		14	月	市老ク連第3回理事会	未定
6	10	木	A初夏複合スポーツ大会	第1・県立 G		15	火	市老ク連第3回理事会	未定
	11	金	”（予備日）	”		17	木	AP冬季GB大会(開会式)	すばーくいぶき
	11	金	広報委員会（校正）	愛らんど		18	金	”（閉会式）	”
7	24	木	広報年輪発行	伊吹地域全世帯	21	月	A広報委員会(割付)	愛らんど	
	15	木	AP創造推進等研修会	県老ク連(草津市)	24	木	県高齢者相互支援活動研修会	長寿社会福祉センター	
8	5	木	友愛訪問品配布	愛らんど	3	1	火	APスマイルボウリング大会	山麓総合体育館
	24	火	P市老ク連第2回理事会	近江やすらぎハウス		4	金	A広報委員会(校正)	愛らんど
	24	火	P市老ク連高齢者スポーツ大会競技説明会	”		16	水	A企画部会	”
	25	水	A福祉部会 友愛情報交換会・研修会	愛らんど		24	木	広報発行	伊吹地域全世帯
9	6	月	A保体部会 競技説明会	愛らんど	25	金	A伊吹老ク連会計監査	愛らんど	
	17	金	A市高齢者スポーツ大会	長浜ドーム	実施時期未定事業				
	24	金	A研修部会	愛らんど	寿ふれあい広場				
10	21	木	AP第52回囲碁大会	ジョイ伊吹	一泊2日研修旅行又は日帰り研修旅行				
	26	火	A保体部会 競技説明会	愛らんど					

※Aは午前、Pは午後、APは終日を示す。

米原市高齢者スポーツ大会出場チームが決まりました

種 目	出場チーム
グラウンドゴルフ	大久保・伊吹・上野・春照
バタンク男	大久保・伊吹A・伊吹B・春照
バタンク女	伊吹A・伊吹B・春照・村木
ワナゲ 男	大久保・伊吹・高番・杉澤
ワナゲ 女	大久保・伊吹・高番・杉澤

米原市高齢者ス
ポーツ大会出場
チームの選出を兼
ねた初夏複合ス
ポーツ大会が中止
になりましたこと
から、抽選等によ
り次の通り決まり
ました。(九月十
七日 長浜ドーム
で開催)

パソコンのサポート費用を要求する サポート詐欺 に注意!

警告音やウイルス感染を警告する画面が表示される
サポート窓口などと同じ合せ先が表示される

閲覧している者を焦らせる!!

正規の窓口と誤信させ電話させる!!



- 絶対に表示されている連絡先に電話することはやめましょう
- 画面を閉じ、パソコンを切りましょう
- 購入店やメーカーの窓口、家族に相談しましょう

犯人は言葉巧みにサポート費用として
電子マネーの購入等を要求してきます



単クダより



老人という言葉

上野老人クラブ

会長 堀江 一三

「芽に青葉山ホトトギス初ガツオ」

今この原稿を書いている事務所の窓から、五月のさわやかな風が舞い込んできました。五月は春たけなわのスッキリとした季節をイメージします。

しかしながらこの一年余りは新型コロナウイルス感染症の拡大で、市民の皆様方には様々な苦労や困難な生活をいられています。一刻も早い終息宣言が出ることを願っています。

上野老人クラブに加入（自的に加入したのか、半ば強制的に加入させられたのか、今となっては記憶がありませんが）させて頂いてから、早くも六年余が過ぎました。歳の順かもしれませんが今年度の会長を拝命いたしました。

一昔前二昔前なら、各自治会に青年団や婦人会といった組織が活発に活動されていま

したが、今では子ども会と老人クラブの二つがある状況です。この老人クラブにも加入される方が少しずつ減ってきている状態です。何十年にわたり、色々な経験と数々の苦労を重ねて、今を生きる方々を老人と呼ぶのはもう止めたほうがいいのではないのでしょうか。シルバーでもシニアでもなく数々の叡智を地域で生かす、「ゴールデンクラブ」ではダメでしょうか。老人という言葉で「主人(ほうじん)」と呼んで、未来を託す子ども達に様々な体験を授ける役割をそれぞれの地域で果たしていく、そんな役割が今求められているのではないかと感じます。

この一年ゴールデンクラブの会長として、そんな仕事ができ、地域の皆さん方とのふれあい活動ができるように、役員とクラブ員の皆様方と力を合わせて取り組んでまいりたいと思います。



会長に就任して

伊吹親和会

会長 宮田 宣章

青葉が目まぶしい今日このごろ会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度伊吹親和会の会長を引き受けることとなりました。わからないことが多く不安な面もありますが皆様のご指導、御協力をいただき事業を遂行して行きたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

伊吹親和会は現在百二十五名の会員で構成されており主な行事としましては毎月の神社清掃、環境美化活動の一環としての清掃活動（グラウンド周辺の草刈り作業）、研修旅行が毎年の恒例行事となっております。その他老ク連の各種スポーツ活動、友愛活動等を行っております。

これからも心身ともに健康に過ごせる老後を夢見て活動していきたいと思っておりますので皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



高齢ドライバーの皆さんへ

しっかりと考えてみませんか？

安全運転のこと

- ・年齢を重ねると注意力や判断力、運動能力などが低下していきます
- ・自分の身を守り、事故の加害者にならないためにできることを考えましょう

昨年はコロナウイルスの感染予防により研修旅行等の事業の中止が相次ぎましたが、早期終息し通常生活に戻り各種事業が開催できますようお願いしております。

編集後記

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止対策で、計画していた事業も中止や規模縮小で活動してきましたが、今年度も周辺府県では非常事態宣言や警戒宣言が発令される状態が始まりました。

湖北地域においては感染者数も少ない状態ながら、感染拡大防止を優先して6月の「初夏複合スポーツ大会」を中止することとなりました。

今後の活動については、ようやく始まったワクチン接種が円滑に進められることに期待しながら、状況を見守って判断していくこととなります。皆様の積極的な活動参加にご期待申し上げますと共に、老人クラブ会員各位のご支援をお願いします。

最後となりましたが、当老ク連の役員としてご尽力いただいた川瀬四郎様、が療養の甲斐なくご逝去され、ご冥福をお祈りいたします。合掌

広報委員長 伊夫 伊夫 伊夫